北條家の国指定重要文化財と登録有形文化財

PLANET　DAO　003　：米蔵･家財蔵･味噌蔵

佐渡奉行所に仕えた　漢方医 北條道益（初代）
慶長17年（1612）-宝永5年（1708）

佐渡島は、順徳天皇や日蓮聖人、能楽を大成した世阿弥など、時代を動かした人物が配流された地として知られています。初代・北條道益もまた1663年、丹波国から佐渡へと配流されました。

佐渡では寺を開き、漢方医として佐渡奉行所に仕え,佐渡の野草・薬草を用いて人と自然の調和を大切にしながら医療を通じて地域の人々に寄り添ってきました。

北緯38度線が通る佐渡の植生の多様性

38度線は寒冷地と温暖地の植物が交錯する希少なエリア。植生の多様性は、里山の薬草文化や伝統的な暮らし、北條道益の医療にも活かされてきた。

①野草・薬草の宝庫

・江戸時代に幕府の命で佐渡に自生している薬草の調査。薬草の島　として「佐渡国薬種24品」が指定され、江戸幕府に献上する。

・「らんまん」で取り上げられた牧野富太郎も佐渡を訪れて、「大和草」の群生を見て、佐渡の植生の豊かさを評価している。

②朱鷺との共生

・朱鷺の野生復帰が実施され、生物多様性の農業が実施。除草剤は禁止、農薬の影響のない安全安心のお米が栽培。

③豊かな植生

・佐渡には熊、鹿、猿、猪がいないため、有用植物を荒らされることがない。植物の生態系が守られる環境となっている。

・南限と北限が交差。みかんとりんごが採れる。

先祖代々守り続けてきた北條家　個人所有の限界

・長い年月の風雨にさらなされ、屋根の茅は痩せて、あちこちで雨漏りが広がり、柱や梁には深刻な劣化が進んでいます
・子供たちに負の遺産のままバトンを渡したくない。

諦めかけていた時に光をもたらしてくれたのがPlanet Labs

維持の限界に直面し、この家を未来へどう残すべきか悩み続けていた私たちに、光をもたらしてくれたPlanet Labsとの出会い。文化財保存の世界にDAOという新しい仕組みを導入する発想は、諦めかけていた可能性を再び私たちに示してくれました。

透明性ある運営で重要な決定には所有者や地域の意見が反映されるため、地域との関係性も担保され、北條家住宅を未来に安心して託せる仕組みである
・単なる物件の譲渡ではなく法人を設立して、所有者が議決権のあるA種種類株式を取得して、地域と連携しながらう運営に主体的に関われること。
・投資家のルールに地域との約束（コレクティブパーパス）が規定されていること
・文化的価値の保全・地域が利用でき交流できる・所有権やう運営権の制限等

国指定重要文化財の主屋も修復・活用に向けて動いていきます

国指定重要文化財の主屋や国、新潟県、佐渡市のアドバイスをいただきながら修復事業に向けて動きはじめています。特に茅葺屋根は全面的に葺き替え、茅葺の魅力を実際に体験できる環境も整備していきたいと考えています。茅葺住宅で重文は北條家住宅だけしかありません。DAOの仕組みで再生され活用する蔵と合わせて、地域や佐渡島の活性化に役立てるよう鋭意う努力してまいります。